



ご使用上の注意点

- ▶ 低圧用のゲージを接続される場合、容易に過大圧力が印加されます。加圧される時は過大圧に十分注意を払って操作してください。
- ▶ 本製品の最大許容圧力600 kPaを超えない範囲で使用してください。
- ▶ 加圧状態のまま、正圧から真空圧に切替えないでください。
- ▶ 接続ねじの締め過ぎは損傷を引き起こします。
- ▶ 本製品は湿気の少ない、非腐食性の環境で保管してください。
- ▶ 真空圧を発生する前に液体セパレータから湿気と汚染物質を除去してください。これは、高圧時にベントを行うことで実行できます。
- ▶ 参照用ゲージの汚染のリスクを最小に抑えるために校正対象製品をベントバルブに近いほうの圧力ポートに接続してください。
- ▶ Additel社は本製品の誤使用、誤操作により生じたいかなる安全に関する問題や損害について責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

- ▶ **圧力レンジ:** 95%真空から400 kPa
- ▶ **温度範囲:** 0~50℃
- ▶ **湿度:** 相対湿度 95%未満
- ▶ **調整分解能:** 0.1Pa (0.001 mbar)
- ▶ **最大許容圧力:** 600 kPa
- ▶ **圧力媒体:** エアー
- ▶ **寸法:** 高さ:140 mm ;
底面: 273 mm x 258 mm
- ▶ **重量:** 1.5 kg

ADT912A

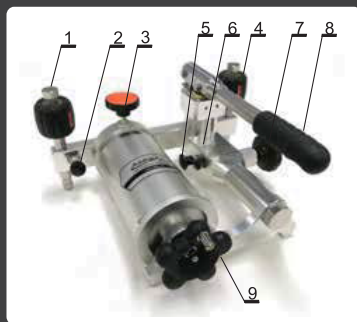
気体低圧用テストポンプユーザーマニュアル

[バージョン情報:1801V15]

最新のマニュアルは www.additel.com よりダウンロードできます

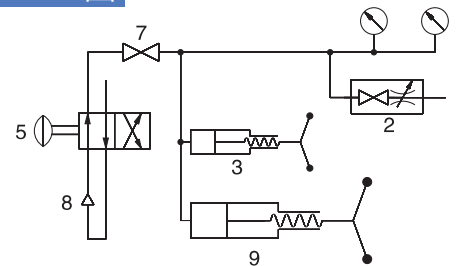


製品構成とフロー図



- 1- クイックコネクタ
- 2- ベントバルブ
(時計方向で閉止/反時計方向で圧力を開放します。)
- 3- 微調整用ハンドル
(時計方向に回すと加圧します。)
- 4- クイックコネクタ
- 5- 正圧/真空圧(P/V) 切替
(正圧の設定:ノブを引き出す。;真空圧:ノブを押し込む)
- 6- 安全ボルトピン
(安全を確保するために使用します。)
- 7- アイソレーションバルブ
(加圧システムから校正用容量を隔離します。)
- 8- ハンドポンプ
- 9- 主調整用ハンドル
(時計方向に回すと加圧します。)

フロー図



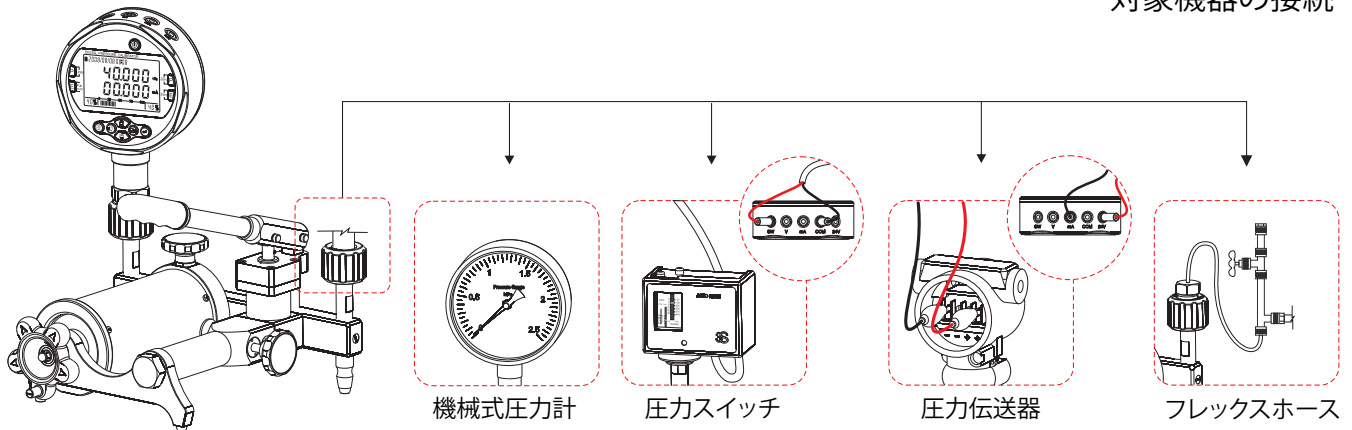
トラブル対応

問題	原因	解決方法
ハンドポンプで圧力がかからない	アイソレーションバルブが開放されていない。	アイソレーションバルブを開放状態にします。
加圧が難しい	A. ベントバルブが閉止していない。	ベントバルブを閉止します。
	B. Oリングが緩んでいるか損傷しています。	Oリングシールを交換します。
	C. P/V 切替器が間違った位置になっています。	正圧: P/V切替ノブを引き出す; 真空: P/V切替ノブを押し込みます。
微調整がうまくできない	A. アイソレーションバルブが閉止していない。	アイソレーションバルブを閉止します。
	B. ゲージの取り付けが緩んでいます。	参照用、又は校正対象ゲージのネジを締め付けます。
	C. Oリングシールが損傷しています。	Oリングシールを新品に交換します。
	D. 接続ねじの表面が滑らかになっていません。	接続ねじにテフロンテープを巻き付け、強く締めてください。
	E. 圧力ポートのコネクターの種類が不一致。	テストゲージに正しいアダプタを使用してください。
	F. ダストや汚染物質により圧力の経路が閉止。	何度かハンドポンプで加圧後、ベントバルブを素早く開放し、汚れを吹き飛ばします。
クイックコネクタが回しにくい	A. 以前に過度の力が加えられた。	過度の力で締め付けない。適度な力で十分です。
	B. ネジに潤滑油が不足している。	ネジに潤滑油を塗布します。

O-Rings for pressure connector

部品番号	サイズ	接続ねじ
1611300004	4X1.5	M10X1, 1/8BSP, 1/8NPT
1611300220	6.5X3	M20X1.5, 1/2BSP, 1/2NPT
1611300024	6X2	M14X1.5, 1/4BSP, 1/4NPT, 3/8BSP

対象機器の接続 **A**



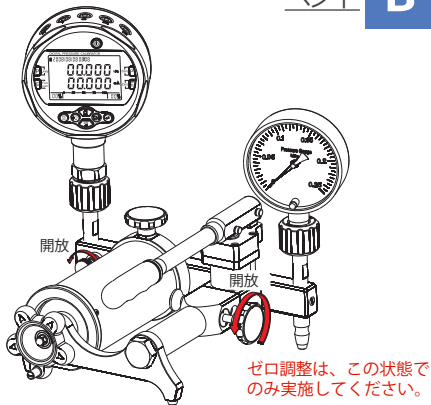
機械式圧力計

圧力スイッチ

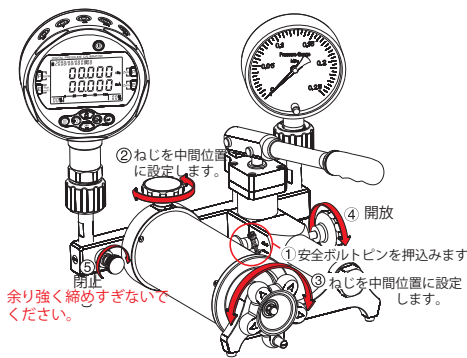
圧力伝送器

フレックスホース

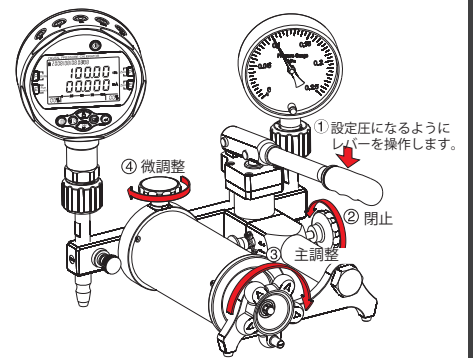
ベント **B**



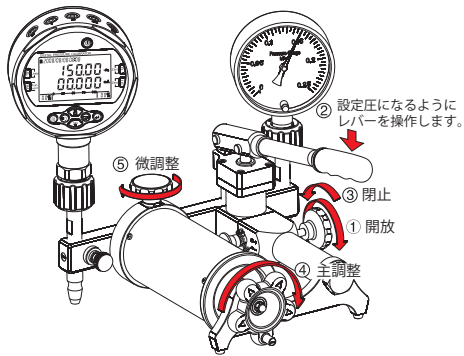
予加圧 **C**



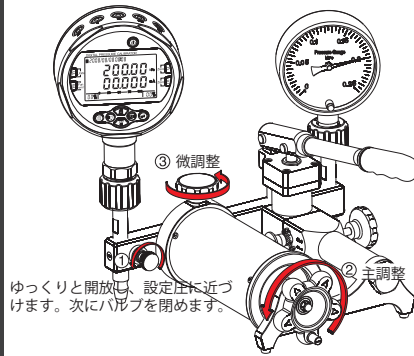
加圧手順と微調整 **D**



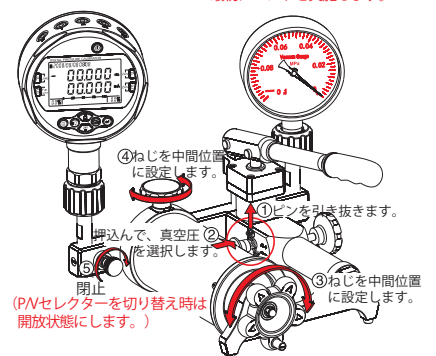
加圧手順のリPEAT **E**



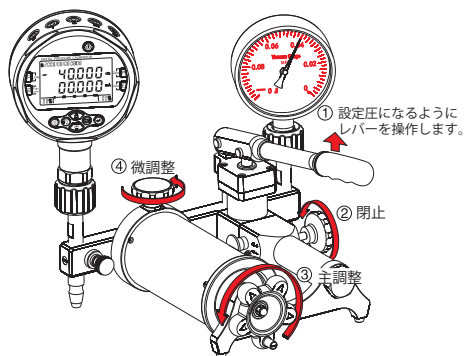
減圧手順 **F**



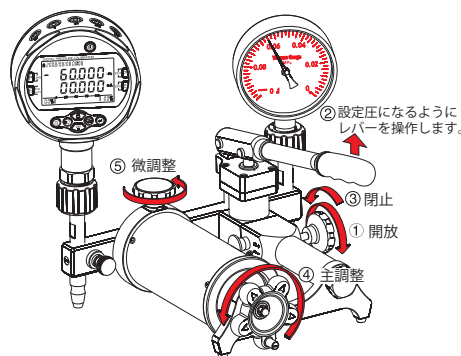
真空圧の手順 **G**



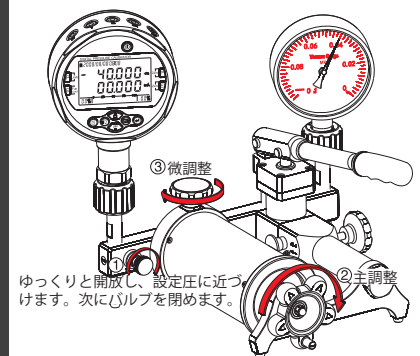
真空圧の手順 (加圧) **H**



真空圧のリPEAT **I**



真空圧の手順 (減圧) **J**



注記 A: Additel社は、機器の適切な使用に関する完全かつ最新情報を提供するために全社協力して取り組んでおります。このマニュアルに記載される製品仕様およびその他の情報は予告なしに変更されることがございます。
B: 上記の画像は参考用です。